

新高通信



第84号

秋田県立新屋高等学校

「The path ARAKO should take.」

校長 浅利 宏



この4月に校長として赴任しました、浅利です。よろしくお願ひします。平成2年から7年まで新任教員として本校に勤務していました。様々な面で当時とはまったく様変わりしており、その変容ぶりに驚かされている毎日です。

今年度、本校が求める生徒像の中のキーワードは「主体的・自律的」と「社会（地域）貢献」です。それらを実現するために、現在行っている探究活動、SDGsに関する活動、そしてボランティア活動が中心となっています。このような活動を通し、予測困難な社会の変化に柔軟に対応する広い視野、経験を持たせることを目指しています。進学校では、とすればキャリア教育のゴール＝志望大学合格となりがちですが、決してそうではなく、生徒たちがどのような職業に就きどのような人生を歩むのか、そこまで見越した指導が必要です。その意味では、本校が実施している各事業はまさにキャリア教育の王道を行くものであり、キャリア教育の在り方を体現しているといっても過言ではありません。本校の今後の進むべき方向はこの探究、SDGs、ボランティア重視ということになってくるであろうと考えています。実際、毎年多くの活動を行っています。今年度は起業体験として合同会社「あらこう」を立ち上げます。6月8日に行った「ももさだ海岸清掃ボランティア」には実に全校483名中210名の生徒が参加してくれました。意識の高さに驚くとともに、感動しました。

さらに今年度から、学校経営方針に進学（大学入試）対策の強化、グローバル化への対応なども新たに取り入れたところですが、いたずらに大学進学者を増やすことを目指すのではなく、希望を持っている生徒がその希望を実現できるようなサポートをこれまで以上にしていきます。秋田県に住んでいてもグローバル化の波は押し寄せてくるし、グローバル化の基本となる異文化理解、異文化体験、そしてそのような意識を持つことの大切さを教えていきたいと思っています。

本校は今年創立40周年を迎えます。これまでの先人の努力に敬意を表し、伝統を踏襲しつつも、新しいことに「本気で」挑戦し続け、新たな歴史を作っていきます。そして何度も使っているフレーズではありますが、生徒が「毎日通いたくなる学校」、保護者が「自分の子どもを通わせたいと思う学校」、そして「地域から愛され、応援される学校」を目指して、職員一同、一丸となって努力して参ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

「社会的自立に向けて」

1年部主任 齊藤 明子

入学時は新しい環境に不慣れだった生徒たちも、この三ヶ月間の授業、学校行事、定期考査などを経験し、高校生活がどういうものであるかを理解し、新高生らしくなってきたように感じます。既に夏休みに入っていますが生徒たちには、日頃の限られた時間では取り組めなかったことやこれまで経験してみたかったけれどできなかったことなどに挑戦し、経験値を高め、充実した時間を送って欲しいと考えています。

先日行われた3日間のα出校日には、外部機関の協力を得て主権者教育講座、Python入門講座、JPX起業体験プログラム、アントレプレナーシップ育成プログラムを実施いたしました。目まぐるしく変化する社会に対応していきける能力や態度の育成を目的として、今後も様々な講座やプログラム、探究活動を実施し、その充実と継続を図って参りたいです。なお昨年度に引き続いてJPX起業体験プログラムの販売会を11月2日（土）アルヴェのきらめき広場で開催する予定です。販売品、販売方法を含め、今後各クラスで検討を重ねていきます。お時間にご都合がつかう場合はお越しくください。

最後になりますが、日頃から地域住民の皆様には、温かいお声掛けをいただきありがとうございます。今後とも生徒たちの教育活動を御支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。



本物の投票箱で選挙体験

「1学期を振り返って」

特別活動部主任 佐々木 渉

学校創立40周年を迎えた今年度、学校行事や各部活動の大会で生徒たちが目覚ましい活躍を見せています。

全県総体を制しインターハイ初出場を決めたソフトボール部をはじめ、バドミントン部、陸上競技部、剣道部、弓道部等、さまざまな部活動が活躍を見せてくれたことで、学校全体が勢いに乗ったと感じています。

6月末には学校創立40周年を記念して硬式野球の招待試合、交流試合が行われ、全国屈指の強豪校である智辯学園高校（奈良）、盛岡大学附属高校（岩手）と対戦しました。両校への敬意を表すとともに、本校野球部を加えたすべてのチームを激励するため行われた全校生徒による応援では、本校ならびに両校の校歌を全力で歌いエールを送る姿が見られ、生徒たちに潜在していた大きな力が開花する瞬間を目の当たりにすることができ、素晴らしい試合内容と相まって感動的な体験となりました。

翌日の新高祭では、これまでにないほどの多くの来場者を迎え、こちらも大変な盛り上がりを見せました。

2学期開始早々には校内球技大会が行われます。各クラスが団結し、精一杯のプレーと声援で大盛り上がりとなることは必至です。勢いがある新屋高校から目が離せません。



智辯学園高校との招待試合



応援にも熱が入ります

～部活動の記録～ 1学期分 ※東北大会出場以上

競技	大会名	種目	成績	氏名	
ソフトボール部	秋田県高校総合体育大会		第1位		インターハイ出場
バドミントン部	秋田県高校総合体育大会	女子学校対抗	第2位		東北大会出場
		個人シングルス	第2位	山内こころ	インターハイ出場 東北大会出場
陸上競技部	秋田県高校総合体育大会	男子400mH	第4位	大澤良雅	東北大会出場
		男子400mH	第6位	鈴木淳嗣	東北大会出場
		女子400m	第1位	下間真城	東北大会出場
		女子200m	第4位	下間真城	東北大会出場
		女子やり投	第6位	小塚紫苑	東北大会出場
		女子4×100m リレー	第4位	平川沙都 齋藤花 伊藤優芽 下間真城	東北大会出場
		女子4×400m リレー	第6位	齋藤花 伊藤優芽 齋藤結衣 下間真城	東北大会出場
剣道部	秋田県高校総合体育大会	女子団体	第3位		東北大会出場
		女子個人	ベスト8	佐々木来海	東北大会出場
弓道部	秋田県高校総合体育大会	女子団体	第2位		東北大会出場

※その他沢山の部活動が各大会で活躍しています。詳細は新屋高校ホームページをご覧ください。